

レポート

能生中学校 2年2組 中嶋 一惺

三日間の中学広島派遣研修で三つの言葉に出会い、考えさせられました。

一日目は、平和ボランティアガイドに山口さんの話をお聞きしました。山口さんは、胎内被爆者です。胎内被爆者とはお母さんのお腹の中で被曝した方のことを言います。普通に被曝するよりもお腹の中で被曝する方が、放射線の影響を受けやすいことを知りました。「日本は被害者でもあり加害者である」これも、山口さんのお話で知りました。日本は植民地の人に対して、悪いことをしました。僕は、植民地の人だけではなく日本人も傷つけたと思いました。

二日目は、広島平和記念式典に行ってきました。僕はその中でも、2人の小学生が力強く誓った「平和への誓い」が心に残っています。この「平和の誓い」では、普段過ごしている日常にもたくさんの平和があると分かりました。次に、大和ミュージアムに行きました。大和ミュージアムには、呉市の歴史や、戦争で活躍していた戦艦がありました。僕たちは、大和ミュージアムで学んだことは「歴史を未来に」という言葉です。大和ミュージアムがある呉市は戦艦大和などの軍艦製造を行っていました。ですが、戦後は呉市にあった人材や技術を活かして近代化に大きく貢献しました。僕はこれを素晴らしいと思いました。

三日目は、平和資料館に行ってきました。その中にはパンフレットで目を覆ってしまった写真や絵もありました。そのくらい原子爆弾は、落としてはいけないものだと改めて思いました。本川小学校には、原子爆弾で溶けたものを展示しています。それから、原子爆弾が落とされた後の温度を目で知ることができました。

この三日間で、平和について考えさせられました。二日目の大和ミュージアムのお話「歴史を未来に」という言葉がありました。このことから、自分の悪いところに気づいて、それを直すのは平和にするために大切だと思いました。自分の悪いところは、うるさいことです。よく友達に「うるさい」と言われます。その自分の悪いところに気づき未来につなげていくことが大切だと思いました。広島平和式典の「平和への誓い」で言っていたように普段の日常にもたくさんの平和があります。なので、自分の短所や、苦手なことを直すことでもいいと思います。それが、自分の悪いところに気付くきっかけになると思います。すぐに平和にならないと思います。平和にするためには、これに向かって一人一人が意識するのが大切です。
